

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立科学館	所管課	社会教育課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月20日
管理方式	指定管理者((公財)山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例		
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	展示室、多目的ホール、あそびのへや、実験・工作室、ミュージアムショップ、レストラン、スペースシアター、天体観測室、展望テラス		
主な業務内容	常設展示の運営 企画展・特別企画展の実施 科学実験・工作事業 天文事業 あそびの部屋関連事業 各種作品展実施		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	入館者	138,547	152,119	162,209	—
	うちスペースシアター観覧者	36,758	66,758	52,764	—
	うち主催事業参加者	70,269	113,108	123,356	—
	うち学習利用者	18,428	19,539	17,439	—
	利用者数合計	138,547	152,119	162,209	—
	目標値	145,200	145,500	152,000	160,000
	目標値設定の考え方	好調であった平成19年度と同等の利用者数を目標とする。	平成21年度実績の5%増	好調であった22年度実績値と同等	好調であった23年度の利用者数を目標とする。
	対21年度比	100.0%	109.8%	117.1%	115.5%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	48,213,000	41,013,000	47,887,000	41,013,000
	指定管理者委託料	349,025,000	348,313,000	348,313,000	347,897,000
	その他	6,330,000	6,308,000	11,309,000	23,811,000
	収入合計(A)	403,568,000	395,634,000	407,509,000	412,721,000
支出	人件費	115,005,000	116,011,000	118,167,000	115,649,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	180,191,000	190,131,000	162,042,000	189,979,000
	(うち外部委託費)(B)	91,426,000	89,492,000	110,100,000	107,093,000
	支出合計(C)	386,622,000	395,634,000	390,309,000	412,721,000
収支差額(A-C)		16,946,000	0	17,200,000	0
外部委託比率(B÷C)		23.6%	22.6%	28.2%	25.9%
利用者一人当りの経費		2,294	2,292	2,147	2,174

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～24年3月(日頃ご協力いただいたアンケートを毎月集計、四半期ごとにまとめて集計し、報告) 実施方法:来館者へのアンケート、回答数:7,340人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
1 利用料金	80.0%	16.8%	3.3%	0.0%
2 職員の接客態度	91.0%	4.8%	1.3%	3.0%
各項目の平均	85.5%	10.8%	2.3%	1.5%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	・館内の案内(表示)がわかりにくい。 ・サイエンスショー、工作の時間を増やして欲しい。 ・予約が完了しているかが不安である(分かりにくい。)
利用者の意見への対応	・表示について検討し、随時変更・追加中。 ・サイエンスショーについては、新メニュー計画中。工作については、物理的な制限がある。 ・予約完了時に確認のFAXを送っている。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書確認及び現地調査の結果、適正に実施されていることを確認した。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書確認及び現地調査の結果、適正に実施されていることを確認した。 今後も利用者が魅力を持つような事業の実施・質の高いサービスの提供に努力されたい。
自主事業	-	-
利用状況	(1)入館者目標152,000人に対し、162,209人(10,209人増・約7%増)と開館以来最大の利用となった。 (2)23年度の利用傾向は、計画停電等の関係で、4～6月は利用が落ち込んだが、7、8月の特別展で利用を伸ばすこととなった。	利用が増えているので、今後もPR活動は継続しておこない、この状況を維持できるように努力されたい。
収支状況	開館から13年が経ち、老朽箇所等が多々あり、修繕費は予算をオーバーしたが、節約・節電に取り組んだことで、燃料費、印刷製本費、光熱水費等を大幅に抑えることができ、健全な収支状況となった。	可能な限り経費節減を行っている。 今後とも、適正な収支バランスを保つよう努めること。
利用者満足度	対応可能な利用者の声については、早急に改善した。今後とも、広く利用者の声を聞き、より一層のサービス向上に努めていく。	四半期毎に集計される利用者満足度調査の結果から、昨年度より満足度があがっている。 努力と工夫により対応している結果であると評価できる。
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行されている。利用者が増えている中、物理的な制限等が出てきているが、工夫して運営を行っていると評価できる。 利用者の安全確保に努め、より質の高いサービス提供を目指して欲しい。開館から年数が経ってきているので、施設維持のためにも、細かいところは早めの修理で対応して欲しい。	

施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況

平成23年度は、開館以来最多の162,209人にご利用いただいた。利用者増加に伴い、駐車場の不足が大きな課題となっている。また、利用者の要望の中で「エレベーターを設置してほしい」「雨天時の食事場所がほしい」という、物理的な要望が圧倒的に多い。今後とも、様々な対策を練り、工夫と努力によって、なお一層満足度が上がるよう努める。

7. 管理体制(組織図)

